

2020年（令和2年）3月25日（水）発行

Memento Mori

NO.83

NPO法人 山梨ホスピス協会

400-0027 甲府市富士見1-2-12

☎055-251-3505 FAX055-251-6155

E-mail yhospcie@basil.ocn.ne.jp

ホームページ 山梨ホスピス協会 検索

ーメメント・モリ（正しくは、メメント・モオライ）はラテン語で
「死を想え」の意味・一日一日を大切に生きましようー

『がんサロ』『メディカフェ』『がん哲』へのお誘い

副理事長 阿部 文明



「ワーハッハ、ワーハッハ」『風林火團』の一同の声が研修室を突き抜けました。ヤバイよ～。ここは図書館、静かにしなければいけないというのがお決まりの場所。みんなで大笑いを出すというのはまずかったかな。であとで、研修室のすぐ外側で勉強していた受験生に聞いてみた。「あの笑い声うるさかった？」「あれくらいじゃあ、大丈夫ツッよ」の返事。君はいい人だ。今年必ず大学合格だ。

令和2年1月11日の午後、がん哲学外来創始者である樋野興夫先生をお迎えして、山梨ホスピス協会ががん哲学外来・メディカルカフェ『風林火團』を、山梨県立図書館の研修室で開催しました。

皆さん。「がん哲学外来」ってご存じですか？自分自身や家族などの身近な人ががんにかかった時、人は死を意識し、今までやこれから自分の生き方について思いを巡らします。その悩みを聞いてあげる時間は医療現場にはありません。その隙間を埋めるべく、がんの知識を携えつつ、暇（ひま）げな風貌をして、偉大なるおせっかいをする胆力と気概を持ち、がん相談する「がん哲学外来」という用語と実践を樋野先生が始められました。

また、そういう患者さんや家族が対話をしながら悩みを癒していく場が「メディカルカフェ」です（HP参照）。

山梨ホスピス協会では、以前から「がんサロン」を始め、この内容はまさにメディカルカフェと同じものでしたので、がんサロンのメンバーが中心になって今回の企画をしました。

がんサロンは毎月2回、山梨ホスピス協会事務所でやっていますので、気軽にお立ち寄りください。がんと共に生きるつらさを少し軽くすることができるかもしれません。年に2回ぐらい、メディカルカフェとして少し大掛かりにやっています。その時にはがん哲学外来も開設し、樋野先生も時々いらしてくださいませ。

冒頭の笑いはメディカルカフェ中の企画「笑いヨガ」でした。がんにかかっている方も、ご家族も、スタッフも大きな声で笑うことが少ない日常生活にチョットした「気合」が入って盛り上がりました。

皆さんも気になるでしょう？次の機会に是非ご参加ください！



総会のご案内

2020年5月23日（土）

13:30～15:30頃

山梨県立中央病院2F多目的ホール

総会後は墨亭河童さんの落語を予定しています。
落語はどなたでもご参加いただけます。

総会は新型コロナウイルスを鑑み予定を変更することがございます。
ご理解よろしく申し上げます。

NO.83 目次

- ・「がんサロ」「メディカフェ」「がん哲」へのお誘い
副理事長 阿部 文明 … 1
- ・11月開催研修講座レポート … 2
- ・がんサロン「ぶどうの会」より … 3
- ・お知らせ他 … 4

2019年度 山梨ホスピス協会研修講座 テーマ「がん患者、認知症の介護ケア・現場から」

2019年11月30日(土)

於：山梨県立中央病院2階多目的室

講師：望月道浩 氏

(医療法人・城東病院、居宅介護支援事業所管理者、ケアマネージャー、社会福祉士)

■2019研修講座のねらい

山梨ホスピス協会では、これまでの事業に加え、今後の高齢化社会の課題である介護、なかでも認知症に悩んでおられるご家族に温かく寄り添っていくこと等、活動を広げ、介護・認知症問題への普及啓発活動に取り組んでいく。

■2019研修講座の内容

【1】映画鑑賞 『ペコロスの母に会いに行く』

監督：森崎東 原作：岡野雄一

出演：赤木春恵・岩松了。

認知症の母親と息子の織りなす心温まる物語。

～ストーリー～

売れない漫画ばかりを描いている男やもめのゆういち、母みつえの認知症が日々進行し、日常生活にも支障をきたすようになったため介護施設へ預けることに。そこでは個性豊かな老人たちがみつえを歓迎するが、彼女はひたすら若かりし頃の記憶をたどり続け……。

(ホームページの紹介より)

【2】介護施設の現場・ケアマネージャーの講演

①家族が認知症やがんに罹患した場合に、その家族の対応や事例から、問題解決の方法を学ぶ。

②認知症について理解し、特徴を学ぶ。併せて認知症の予防や社会全体で考える機会とする。

■2019研修講座参加者アンケートから(一部分紹介)

認知症の予防について自分に置きかえて考えてしまった。／やっと介護にシフトしはじめて、大変勉強になりました。／興味深く映画を観させて頂きました。／この様な内容でまた開いてください。／望月さんの事例を聞いて、本当に参考になりました。／ひとり住まいの母(もの忘れ、胃がん)を看護するために、いろいろ参考にさせて頂いています。本人の自尊心を大事に、これからも家族と話して楽しくやっていけるようにしていきたいです。／だれも認知症になりたくてなるわけじゃない。人それぞれ色々な人生を歩んできて、本当に尊いことだと思う。／映画の息子さんの様に母親を大切に出来ることは素晴らしいと思う。／ホスピス講座で認知症についても考える機会もあるというのはとても良いと思う。緩和ケア研究会とのコラボレーション。やはりホスピス協会はNPO法人であり、がんサロン「ぶどうの会」や「がん哲学外来」を行っているところから、経験談からの仲間作りや相談窓口、山梨県らしいシステムの開発につなげられればと思います。／いつも心に残る映画会をありがとうございます。できれば選り抜きの映画会を続けてほしいと思います。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。



講師の望月道浩氏
優しい語りで温かい話をしてくださいました。
ありがとうございました。

- ▶上映した「ペコロスの母に会いに行く」
寄り添うことに少しでも近づければ、
残されるものも悔いなく穏やかになれる
気がします。



～がんサロン「ぶどうの会」～

ぶどうの会は、少ない人数ながらも月2回のサロンに集まり、テーブルを囲み、様々な思いを語り、聴き、お菓子を頬張りながら、笑える、温かい時を過ごし、重かった荷物を椅子の上において、少し軽くなって帰れるような、そんなサロンです。

12月には、一年の締めくくりの会を25日の水曜日に開きました。会費は500円、果物などは持ち寄り、参加者は12名、Sさんが愛情込めて仕込んだおいしいおでんを皆でつつきながら、ビンゴゲームを楽しみました。(Fさんが苦労して選んだ景品は100均です。)山梨県立大学の高岸先生による「もしバナカード」の使い方も学びました。最後にはOさんの指導のもと「いのちの歌」を合唱しました。

山あり谷ありの一年を思い、大掛かりな扶助なくともそばにいる、仲間の差し伸べた手に、支えられた人もいたのではないのでしょうか?

この日今年ホスピス協会に賛同いただいた方が90人になったとのこと。たとえ少なくとも小さい粒でもしっかり枝についていれば、大きなひと房のぶどうになることを信じて、来年も風雨に負けないで、太陽に向かい歩いていきたいと思いを新たにしたサロンのひと時でした。

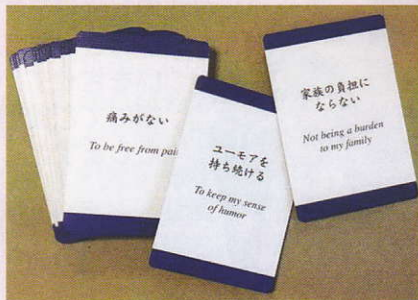
(文責 窪田恭子)



もしバナカードとは。。

人生の最期にどうありたいか。多くの人が大切だとわかってはいるけれど、なんとなく縁起でもないという理由で避けて通ってる…。

このゲームは、そんな話題を考えたり話し合うきっかけを作るためのものです。家族や友人にあなたの願いを伝え、理解してもらうためのきっかけになります。『もしバナゲーム』は、「もしものとき」自分自身や自分の思いを代弁してくれる人たちが困らないように、自分自身のことをじっくり考えたり、また自分の思いを代弁してくれる家族や友人と話し合ったりする助けになります。



カードは36枚、すべてのカードに違う望みが書かれています。その中から自分の気持ちに近いものを捨てては選ぶを繰り返します。2人から4人くらいで行います。



ぶどうの会のメンバーは、様々な職種や人生を経験された心強いメンバーです。話題も事欠かない。しかし。。。(笑)「あれあれ!あそここのあれ」とか「あれなんだっけ??ほらっ」みたいな会話が聞こえ、事務仕事の傍ら「ぶぶっ」とすることしばしば。ほほえましい。。。みなさんから爽やかさとパワーをもらってます。

(事務:渡辺)

ぶどうの会に足を運んでみませんか?

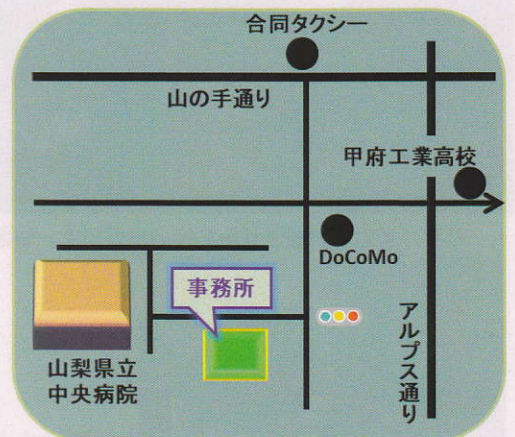
新年度の開催日程

4月11日(土)	22日(水)
5月9日(土)	27日(水)
6月13日(土)	24日(水)
7月11日(土)	22日(水)
9月12日(土)	23日(水)
10月10日(土)	28日(水)

13:30~15:00頃



MAP



お問い合わせ
055(251)3505

(水曜日のみ)

がんサロン「ぶどうの会」は月2回のサロンのほか、がん支援団体との連携及び情報交換、がん哲学外来(年2回程度)の運営/もしバナカードの研修と実施、年1回のリクリエーションとしての行楽等様々な活動をしています。がんだけでなく重病を抱えている方、患者さんとそのご家族がお互いの心の中を語ったり、身近な情報を交換しています。同じ病を持つ仲間同士として話し合い、学びあい、共感することで前向きに生き生きと過ごすことを目的とした交流の場です。

第5回がん哲学外来／メディカル・カフェ ＜風林火團＞を開催しました！

トップページでもお伝えしたとおり、去る1月11日(土)午後13.30-16.30、山梨県立図書館交流ルーム101にて第5回メディカルカフェ「風林火團」を行いました。

～樋野先生を囲んで～

がん哲学外来メディカルカフェ終了後、樋野先生を囲んで懇親会をタイ料理店で行いました。写真はその時の一コマです。限られた時間でしたが、樋野先生の「居眠りボイス」と「暇気な風貌」そのままに、温かく楽しい時間を過ごしました。



樋野興夫先生(左から3人目)と。

<趣旨>

「がん(病気)であっても、人間らしく自分の人生を生きることのできる社会」の実現を目指して2008年(平成20年)順天堂大学に「がん哲学外来」が開設され、その後全国各地に広がっている。

<この日の予定>

- (1)開会あいさつ：阿部文明
 - (2)樋野興夫先生の話
 - (3)メディカル・カフェ「風林火團」4グループ(7~9名)
 - (4)見守り役(ファシリテータ)がグループの話を紹介
 - (5)笑いヨガ：和田広子
 - (6)閉会あいさつ
- 並行してがん哲学外来(個人面談)4名。別室にて実施。



会場いっぱいの参加者で話が弾み良いカフェとなりました。たくさんのご参加ありがとうございました。



これが学生を震撼させた？笑いヨガです。映像でなくて残念！



樋野先生も
こらえきれず
「ぶつぶつ」



◆事務局より お願い◆

日頃から当協会へのご支援ご協力ありがとうございます。2019年度も会員の皆様から会費をお納めいただき心からお礼申し上げます。

会報と一緒に今年度2020年度会費のお願いをさせていただきます。同封の振込用紙にてご賛同いただけますようお願いいたします。



郵便振替口座番号	00450-6-11729
加入者名	山梨ホスピス協会
正会員	一口 3000円

編集後記

「がん哲学外来」の樋野興夫先生(順天堂大学名誉教授)と山梨ホスピス協会との具体的ご縁は2017年5月6日(土)定期総会での特別講演会に始まる。「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」という感動的なメッセージを下された。今年1月の「メディカル・カフェ」は5回目である。日本全国で既に170か所で行われているという。山梨県下でも、甲府以外に「八ヶ岳メディカル・カフェ」が開設され、3/21(土)、4/18(土)等の開催予定がある。互いに情報交換しながら、活動を進めていきたい。

(岩間孝吉)

